

## 新型コロナウイルス感染予防のため、 下記事項を徹底して実施致します

### ①必要最低限の人数での運用

生放送・制作・運営を実施するにあたり「密」を避けるため必要最低限の人数で運用します。  
すべての場所において人数制限を行い「密回避」「消毒」の徹底します。  
また、出演者に対してはスタッフを限定して、接触機会を減らす対応をします。

### ②検温・体調をチェック

スタッフ・出演者・関係者の検温・体調チェックを徹底し、体調不良の方は入館を禁止します。

### ③スタッフ及び出演者・関係者の入館チェックシート管理

使用する会場・スタジオでは全ての関係者を対象に、入館チェックシートにて管理を実施します。

### ④マスクの着用/換気の実施

会場内ではすべての関係者が必ずマスク着用を徹底します。  
また、会場・スタジオ内の換気を定期的の実施します。

### ⑤手洗い/手指のアルコール消毒の徹底

すべての会場・スタジオに消毒のための備品を持参し、消毒液やペーパータオルなど消毒用品の設置と運用マニュアルを通達し、手洗い・手指消毒、機材等の消毒を徹底します。

## ①関係者の感染防止策

- ・37.5℃以上の発熱・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害等の症状がある者、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者、過去14日以内に政府から入国制限または、入国後の観察期間が必要とされている国・地域等へに渡航及当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者は、業務・出演を禁止します。
- ・自宅で検温を行うことを義務付け、37.5℃以上の発熱がある場合には、直ちに自宅待機とします。発熱がある場合は、各公演関係者のセクションまたは会社ごとに共有をし、制作側に連絡の一報を行い、状況や対応の取りまとめを行います。
- ・使用する会場には消毒液を持参し、入館時に手指の消毒をおこないます。また、使用する机、イス、機材、ドアノブ等関係者が触れる箇所は使用前、使用後を行い使用します。
- ・マイクは出演者ごとに用意をし、使い回しはしないマイクの使用の前後には、手洗いや手指の消毒を行うとともに、使用した機器の消毒を徹底して行う
- ・表現上困難な場合を除き、原則としてマスクの着用を義務とし、手洗い/アルコール消毒を徹底します。出演時等、マスクの着用ができない場合については後述の記載事項を厳守します。
- ・関係者の名簿の作成を致します。名簿はイベント実施以降3週間より長い期間保管します。公演関係者の情報が必要に応じて保健所等の公的機関に提出され得ることを事前に周知するとともに、個人情報保護の観点から、名簿等の保管は十分に対策を講じます。

## ②関係者の身体的距離の確保等

- ・関係者間で2メートルを目安に(最低1メートル)身体的距離が確保できるよう、スタッフを兼任する等の工夫を行うことにより、公演関係者の人数は必要最低限に限定します。
- ・仕込み、リハーサル、撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の発生防止に努めます。その他、制作過程においても十分な感染防止策を講じます。

## ③食事とケータリング

- ・すべての食事は表面の汚染を防ぐ方法を用い、1回分ずつ分けて配布するものとします。また、すべての飲み物は1回分用の容器に入ったボトルや缶で提供するものとします。ビュッフェ形式での提供は行いません。
- ・食事を扱うスタッフは、事前に手洗いや手指の消毒を行います。ケータリング等を利用する方には必ず手洗いや手指の消毒を推奨致します。
- ・食事中の会話は控えるものとします。

## ④衛生関係

- ・トイレの蓋を閉めて、汚物を流すようにします。またハンドドライヤーは使用せず、ペーパータオルを使用します。
- ・関係者がイベント会場に入る前に、トイレ内や控室・ドアノブ等の消毒を行います。
- ・イベント終了後の退館時には、手洗いや手指の消毒を行います。
- ・清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底します。